

**特集1 走った!繋げた!第93回東京箱根間往復大学駅伝競走**

Feature Article 1: They ran as a team, they passed the sash,  
to the 93<sup>rd</sup> Hakone Ekiden elimination race

**特集2 田中正義投手、池田隆英投手のプロ野球ドラフト・ドキュメント**

Feature Article 2: Pitchers Seigi Tanaka and Takahide Ikeda were drafted!

92

創価大学ニュース

2017  
Winter

# SUN

Soka Univ. News

**特集3 SEKAI SOKA グローバルビジネスキャンパスをレポート!**

Feature Article 3: How Soka students shined at the Global Business Campus





[特集1] 走った!繋げた!第93回東京箱根間往復大学駅伝競走

# 負けじ魂で箱根路を激走! 2年ぶり2回目で総合12位へ大躍進!



レース開始直後の大手町スタート地点

## 往路戦評

### 往路9位で フィニッシュ!

1区大山は17位とはいえ、トップと1分07秒差で2区へ襷リレー。2区マイルは、7人抜きで10位となる好走。3区蟹澤は3つ、4区セルナルドは2つ、それぞれの区間で順位を上げ、5位で5区江藤へ襷を繋いだ。江藤も最後まで粘り、シード圏内の往路9位でゴールテープを切った。

### 1区

オオヤマ ノリアキ  
**大山 憲明**  
文学部3年

#### 沿道の声援を受けて

「自分の走りでチームを勢いづけることが役割だと思っていました。沿道から『大山がんばれー!』との声援をいただき、粘りの走りができました。心から感謝します」



2区へ応援にかけつけた外国人留学生たち

### 2区

ムソニ・マイル  
**ムソニ・マイル**  
経済学部1年

#### 留学生の声援を力に

「大山選手から襷を受けとったとき、勇気が湧きました。走っている途中、創大の留学生をはじめ、沿道からたくさんの声援をいただき、とても力になりました」

### 3区

カニサワ ジュンペイ  
**蟹澤 淳平**  
文学部3年

#### シード圏内目指して

「2年前のリベンジをかけて、必ず自分が順位をあげてシード圏内に入った状態で襷を繋ごうと思って走りました。大変にありがとうございました」

### 4区

ユウジ  
**セルナルド 祐慈**  
経営学部4年

#### 主将として力を出し切る

「今回が陸上人生最後のレース。少しでもタイムを稼いで江藤選手に襷を繋ごうと思いました。悔いなく走りきろうと力を振り絞り足を前に運びました」

### 5区

エトウ ミツキ  
**江藤 光輝**  
経営学部3年

#### 喜びと感謝を胸に

「『山の5区』を走れる喜びと感謝を胸に走りきることができました。チーム順位を下げた結果になりましたが、シード圏内の9位でゴールができてよかったです」



力走する全選手に学生応援団がエールを



Feature Article 1: They ran as a team, they passed the sash, to the 93<sup>rd</sup> Hakone Ekiden elimination race. For the 2<sup>nd</sup> time, first in 2 years, resulted in incredible growth and overall 12<sup>th</sup> place, as they ran the Hakone route with the never giving up spirit.



1区 区間17位 1:05:03  
大山 憲明選手



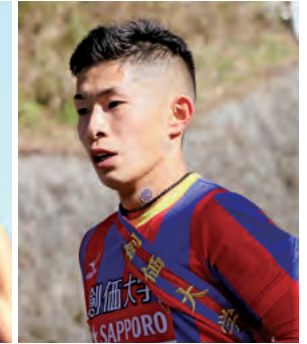
2区 区間4位 1:08:05  
ムソニ・ムイル選手



3区 区間7位 1:04:28  
蟹澤 淳平選手



4区 区間5位 1:04:17  
セルナルド 祐慈選手



5区 区間16位 1:17:32  
江藤 光輝選手



6区 区間19位 1:02:08  
作田 将希選手



7区 区間18位 1:07:23  
古場 京介選手



8区 区間3位 1:06:33  
米満 怜選手



9区 区間13位 1:12:41  
三澤 匠選手



10区 区間8位 1:12:27  
彦坂 一成選手

### 6区

サクダ マサキ  
**作田 将希**  
経済学部2年

#### 来年のリベンジを誓う

「走路のどこでも応援してもらいましたが、足が動かなくなり、期待に応えることができず申し訳ない気持ちで一杯です。来年戻ってきて主力としてリベンジしたいです」



沿道の応援が選手の支えに

### 7区

コバ キョウスケ  
**古場 京介**  
文学部2年

#### 熊本へ元気を届けた

「沿道の応援のおかげで最後まで走り切ることができました。熊本に少しでも元気を届けたいと思って走りました。支えてくれた人たちにありがとうと伝えたいです」

### 8区

ヨネミツ レン  
**米満 怜**  
文学部1年

#### 快走で順位を上げる

「襷を受ける前は不安や緊張もありましたが、順位をあげたいと自分の走りをしました。これからも力をつけて、チームを引っ張るようなランナーになりたいです」



来年の箱根での勝利を皆で誓う

### 9区

ミサワ タクミ  
**三澤 匠**  
経済学部3年

#### 同期の熱い声で燃えた

「米満君が快走していい流れを作ってくれたので、自分が引き継いで力の限り走りきろうと思いました。同級生が大きな声で応援してくれ、心が燃えました」

### 10区

ヒコサカ カズナリ  
**彦坂 一成**  
経済学部4年

#### ゴールで待つ仲間を目指して

「4年間の思いとチームの仲間がゴールで待っていることを考えて、最後まで走り切りました。後輩達には今年の記録を超えて欲しいです」

### 復路戦評

前回より11分03秒  
削ってゴール!

6区作田は強豪校のプレッシャーに耐えながら、14位で7区古場に襷を託す。古場は前を追うも15位。8区米満は区間3位の好記録で12位まで押し上げた。9区三澤は襷に思いを込めて力走。10区彦坂は4年間の集大成の走りを見せ、総合12位でゴール。来年に向けた大きな飛躍の舞台となった。



# 往路 107.5km

大手町



1区大山選手往路スタート!

1区大山選手から2区マイル選手へ



鶴見中継所



往路ゴール  
芦ノ湖

5区江藤選手が往路を9位でゴール!

2区マイル選手から3区蟹澤選手へ



戸塚中継所

平塚中継所



3区蟹澤選手から4区セルナルド選手へ

4区セルナルド選手から5区江藤選手へ



小田原中継所



# 初めて襷が繋がった!

# 復路 109.6km

芦ノ湖



6区作田選手復路スタート!

6区作田選手から7区古場選手へ



小田原中継所



大手町

10区彦坂選手が総合12位でゴール!

7区古場選手から8区米満選手へ



平塚中継所

戸塚中継所



8区米満選手から9区三澤選手へ

9区三澤選手から10区彦坂選手へ



鶴見中継所



# 激闘の箱根駅伝を終えて

After the daunting race of  
the Hakone Ekiden



主将  
**セルナルド 祐慈**

皆様のおかげで無事に襷を大手町まで持って帰ることができました。往路9位・総合12位という結果を残すことができ、他大学と戦ったと実感した駅伝でした。来年は大山新主将を中心にもっと上の順位を狙えるチームなので、応援よろしく願いいたします。



監督  
**瀬上 雄然**

沿道の大声援が選手たちの力になりました。この2日間は、選手の成長を実感しました。12位という結果は未来に繋がる結果だと思います。4年生の彦坂が最後まで諦めない走りを見せてくれました。全員で創価大学らしい走りができたと思います。



ヘッドコーチ  
**久保田 満**

「強いチームを作る」と今回の選手たちは箱根駅伝に向けて今までにやったことのない練習をしてきました。この2日間、本当に頑張りました。これからは新しいチームで来年の勝利を目指して練習していきます。



副将  
**大山 憲明**

前回20位という結果から、シード権獲得になりませんが、12位でゴールすることができました。4年生は引退となりますが先輩たちの思いを受け継いで、来年は必ずシード権を獲れるように頑張ります。



コーチ  
**君塚 正道**

選手の皆が一人ひとり力を出し切りました。来年に向けて課題が見えてきた駅伝でもありました。それぞれの課題を乗り越えて、さらに強い駅伝部となります。今回は多くの方の応援で襷を繋ぐことができました。

## たくさんのご声援ありがとうございました！



学長  
**馬場 善久**

全国の皆様のご声援のおかげで新しい歴史を築くことができました。心から感謝申し上げます。選手たちだけでなく関係者の皆様のご尽力によって、2017年最高のスタートを切ることができました。選手の皆さんの頑張りに勇気をもらいました。感謝をありがとう！学生の活躍ほど嬉しいことはありません。これからも学生第一にしっかり頑張ってまいります。

### 2017年箱根駅伝順位

1位 青山学院大学	11時間04分10秒	11位 帝京大学	11時間20分24秒
2位 東洋大学	11時間11分31秒	12位 創価大学	11時間20分37秒
3位 早稲田大学	11時間12分26秒	13位 大東文化大学	11時間23分45秒
4位 順天堂大学	11時間12分42秒	14位 拓殖大学	11時間24分22秒
5位 神奈川大学	11時間14分59秒	15位 上武大学	11時間24分45秒
6位 中央学院大学	11時間15分25秒	16位 國學院大学	11時間28分44秒
7位 日本体育大学	11時間15分39秒	17位 山梨学院大学	11時間29分17秒
8位 法政大学	11時間15分57秒	18位 明治大学	11時間29分17秒
9位 駒澤大学	11時間16分13秒	19位 日本大学	11時間30分38秒
10位 東海大学	11時間17分00秒	20位 国士舘大学	11時間49分18秒



[特集2] 田中正義投手、池田隆英投手のプロ野球ドラフト・ドキュメント

# 夢を叶えた運命の日、大歓声が沸き上がる



## 仲間と一緒に喜びを爆発!

10月20日、2016年プロ野球ドラフト会議が都内で行われ、本学では中央教育棟ディスカバリーホールをパブリックビューイング会場および記者会見場とし、硬式野球部員をはじめ教職員、学生ら1,300名が運命の瞬間を見守りました。

ドラフト会議では、本学硬式野球部の田中



田中投手、池田投手への期待を語る岸監督

正義投手(経営学部4年)がドラフト1位で5球団の競合となり、福岡ソフトバンクホークスが交渉権を獲得。池田隆英投手(同4年)が東北楽天ゴールデンイーグルスから2位指名を受けました。会場では、田中投手、池田投手が指名される度に大きな歓声が上がりました。

指名後の記者会見には51社、143名の報道陣が集まり、指名を受けた両投手と田代康則理事長、岸雅司監督が出席しました。会見の席で岸監督は「指名された球団の期待に応えられるよう、力を発揮してもらいたと思います」とコメントし、田代理事は「この両名で、本学からプロ野球界へ進出する卒業生は18名になります。様々な分野で卒業生が活躍することほど、大学として嬉しいことはありません。これもご支援いただく皆様のお陰です。心から感謝いたします」と述べました。



関係者への感謝を述べる田代理事長

指名を受けた田中投手は「福岡ソフトバンクホークスに決まり嬉しく思います。(工藤)監督の期待に応え、チームの勝利に貢献できるように、努力を重ねていきたいです」と語り、池田投手は、「家族をはじめ周りの支えがあって怪我等を乗り越えて、この日を迎えることができました。創価大学野球部で培ったことを胸に、プロでの野球人生を力強く歩んでまいります」と述べ、共に指名された喜びと決意を語りました。



Feature Article 2: Pitchers Seigi Tanaka and Takahide Ikeda were drafted!  
As the audience roared, their dreams came true on this fateful day

## 2016年10月20日(木)17:00 日本中が注目するドラフト会議が始まった



### ①スクリーンにドラフト会場が映し出される

ディスカバリーホールが満員となり熱気につつまれる中、運命のドラフト会議がスタートしました。



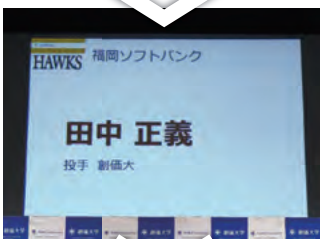
### ②1位指名予想選手として田中投手の名が

「競合必至のアマチュアナンバーワン右腕」と紹介があり、何れ球団が田中投手を指名するのかに注目が集まりました。



### ③緊張した表情の田中投手と池田投手

各球団の指名選手の発表が開始され、次々と注目選手が指名されます。



### ④5球団が田中投手を1位指名

ロッテ、ソフトバンク、巨人、日本ハム、広島が田中投手を1位指名。交渉権獲得の命運は抽選に託されました。



### ⑤ソフトバンクが交渉権を獲得

5球団による抽選の結果、ソフトバンクが交渉権を獲得。工藤監督は右手を高く上げてガッツポーズしました。



### ⑥「主力投手に」と工藤監督、喜びの言葉

工藤監督は「日本を代表する投手になれる」と期待を寄せ、「開幕投手を目指すぐらい頑張っほしい」と語りました。



### ⑦思わず岸監督と握手を交わす田中投手

交渉権がソフトバンクに決まり、田中投手の表情から自然と笑顔がこぼれました。



### ⑧東北楽天が池田投手を2位指名

田中投手に続き、池田投手も2位で指名を受け、場内から大きな歓声が上がりました。



### ⑨池田投手、喜びの笑顔

池田投手は、指名を受けた喜びを語り、これまで切磋琢磨した田中投手にプロ野球の舞台で「いずれは勝つ」と宣言しました。



### ⑩花束を胸に決意も新たに

夢を勝ち取った両投手を祝福する花束が贈呈され、参加者から大きな拍手が起きました。



### ⑪指名後の様子

ドラフト会見後も各社の取材を受けました。ドラフト会議を終えて岸監督は「これからは創価大学の根本精神である人間教育を土台とした人間野球を掲げ、皆様に喜んでいただける戦いをしてまいります」と創大野球部発展への決意を語りました。



# 今、語る!創大硬式野球部の魅力と実力

熱気と感動のドラフトから早くも2ヶ月が過ぎた冬晴れのワールドグラウンドに、田中正義投手と池田隆英投手が創大ユニフォームに身をつつみ登場! 2人を4年間指導してきた佐藤康弘ピッチングコーチと共に、創大硬式野球部の魅力を聞きました。



## 田中、池田両投手のターニングポイントとは

—田中投手と池田投手は、すでに福岡ソフトバンクホークス、東北楽天ゴールデンイーグルスとの契約を済ませ、背番号も25番と30番に決まりました。今回がお二人の創大ユニフォーム姿の見納めかもしれません。改めて、おめでとうございます。

**田中正義投手**(以後田中):ありがとうございます。ドラフトでは本当に緊張しました。実は昨日、福岡から帰ったばかりです(取



左から田中正義投手、池田隆英投手、佐藤康弘ピッチングコーチ

材は2016年12月2日)。

**池田隆英投手**(以後池田):ありがとうございます。ドラフトでは田中が指名された後に時間があ、緊張している時間が長くてしんどかったです(笑)。

—佐藤コーチに伺いますが、こうしてお二人がプロへの道を歩むことは入学当初、想像されていましたか?

**佐藤康弘コーチ**(以後佐藤):彼らは1年生のときから野球に対する意識が高く、飛び抜けていました。しかしその可能性をどこまでもっていきけるかは本人次第です。二人は、私が予想しなかったレベルまで高める努力をしていました。私がかがけたのは、二人が大きな怪我をせずにプロへ進めるだけの力が付くように応援した、それだけでした(笑)。

—ここに至るまでにターニングポイントはどこにありましたか?

**田中:**2年生の春です。東京新大学野球連

盟のリーグ戦で共栄大学との対戦で登板し、三振を11個とって完封したときです。そこから、自分の野球人生が変わりました。それまでは怪我也有りましたが、コーチが頑固で我がまま(笑)な自分を信じてプレーさせてくれたことに、心から感謝しています。

**池田:**3年生の夏に自分が投げて負けたときですね。そこから秋にかけて、ものすごい数を投げ込みました。それがプロを目指せるような身体を作り、今の自分があると思います。

## プロ野球への道を拓いた“人間野球”の精神

—お二人とも創価高校では甲子園出場は果たせませんでした。あきらめることなく、創大でもプロを目指しました。創大硬式野球部で培ったものとは何ですか。

**田中:**“人間野球”そのものです。野球人で



# Now it's time to learn what makes Soka's baseball team great!



田中投手のグローブには「Win by soul」、池田投手のグローブには「親孝行」の文字が縫い込まれている

ある前に人としてどうあるべきか。一流の人間になりたければ、常に一流のものに触れ、高みを目指しなさいという創立者の言葉もあり、1位指名されたとき、自分の道は間違っていなかったと確信しました。

**池田:** 試合に出る、出ないにかかわらず、また勝っても負けても、自分はどうかあるべきかを常に考えること、それが人間野球だということを4年間で学びました。監督やコーチには、常に相談にのっていただきここまで来たという思いです。野球だけでなく、人としてのあり方を教えていただきました。

**佐藤:** 創大硬式野球部の強さは、人間力と団結力です。皆まじめで、私が言った以上のことをやる。そして、一人ひとりが皆のために、皆が一人のために動く。秋季リーグ戦で優勝できたのも、部員全員が自分に与えられたことを全力でやり抜いたからです。—投手はプレッシャーの大きなポジションですが、何が一番大事ですか？

**池田:** 心の強さですね。常に、堂々とマウンドに立てる精神状態であることが最も大事だと考えています。相手に堂々と立ち向かう強い心、それが無ければ勝てない。なかなか難しいですが、日頃からそういう心の状



態を作れるように意識しています。

**田中:** やはり、投手は気持ちが一番大きいですね。弱気だとどこに投げても打たれる。良い精神状態だと、打てるものなら打ってみろという気持ちで向かっていける。技も大事ですが心で勝つことが大切です。

## 後輩には是非日本一になってほしい！

—佐藤コーチから、お二人へエールをお願いします。

**佐藤:** 二人ともプロの世界に挑戦していきますが、どの世界でも“自分のために”と考えると限界があります。周りの人のため、チームのために努力していくことで、さらなる高みへ世界が開けていく。二人とも球界を代表する投手になると信じています。

—では、お二人にはプロへの決意をお願いします。

**田中:** 1年目は開幕ローテーションに入ること。そして沢村賞です。沢村賞を絶対取るという根拠の無い自信(笑)ですが、実力で示してみせます。

**池田:** 今は何もイメージしていません。今ま

でやってきたことを続けていだけてです。先ほども言ったように、常にマウンドに堂々と立ち、信頼されるピッチャーを目指します。—最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

**池田:** このような環境でプレーできることに感謝して、常に上を目指して頑張してほしいです。

**田中:** 僕たちの代で日本一を成し遂げられなかったのですが、それを後輩に託します。この悔しさはプロの世界で晴らします！

—本日は、ありがとうございました。お二人の活躍と創大硬式野球部の日本一を応援しています。



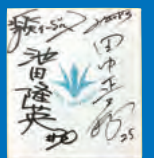
## 田中正義投手、池田隆英投手のサイン入り色紙を10名にプレゼント！

プロとしてスタートする二人と一緒にサインした貴重な色紙です。皆さん、ふるってご応募ください。

**応募方法:** 官製ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・田中投手、池田投手への応援メッセージを記入の上、郵送でお送りください。**宛先:** 〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 創価大学企画広報課 SUNプレゼント係まで

**応募締切:** 2017年2月28日 (火) 消印有効

**抽選・当選発表:** 抽選を行い、当選者を決定いたします。ご当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。





[特集3]SEKAI SOKA グローバルビジネスキャンパスをレポート！

# 国際社会、地域社会の貢献の主体者に！

キャリアセンターの課外講座である「グローバルリーダーカレッジ(GLC)」が開講10周年を迎えました。これを記念して、「世界を舞台に活躍するために、たくさんの“気づき”を創大生に」をテーマに、SEKAI SOKA グローバルビジネスキャンパスが開催されました。



2016  
10.16(日)  
事前予約制

SEKAI SOKA  
グローバルビジネス  
キャンパス

第一部 10:00-12:00  
第二部 13:00-16:45

開催場所：創価大学 中央教育棟

外資系企業、日本発グローバル企業、国際協力関係機関など  
世界を舞台に活躍する企業・団体が創価大学へ一堂に集結！

## 世界の第一線で活躍する方々と、 創大生との知の格闘

10月16日、キャリアセンターおよびグローバルリーダーカレッジの共催で「SEKAI SOKA グローバルビジネスキャンパス」が開催されました。創大生がグローバル企業や国際協力団体をはじめ世界の第一線で活躍する方々と触れ合い、世界を舞台に活躍するために必要な力を丸一日体感できるイベントでした。

### グローバルビジネス・国際協力の 第一線で活躍する人の声を聞く

グローバルビジネスキャンパスには、延べ1,600名を超える学生が参加をしました。第1部では記念フォーラムが行われ、アクセンチュア株式会社の公共サービス・医療健康本部マネジング・ディレクター後藤浩さんによる基調講演に続き、3名のパネリストを加え「私が考える Value Creator,



アクセンチュア株式会社 後藤 浩さん

Diversity」と題するトークセッションが開催されました。

第2部では講演・ワークショップとして、「これからの未来の話をしよう(日本アイ・ビー・エム株式会社)」、「自動車ビジネスとダイバーシティ(自動車メーカー)」、「Cross-culture Team Building(日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ株式会社)」など、外資系企業・日系グローバル企業・国際協力関係機関に勤務する方を講師に招き、全14講座が開講されました。

### 体感型ワークショップで “世界”が身近に

参加した学生からは、「国際協力というと遠くに感じていましたが、もっと自分ではできると思えたイベントでした。ものすごくやる気が出ました。どんなことにもあきらめずに最後までやり抜き、たくさん失敗も経験したいと思いました」(文学部2年)、「様々な方からお仕事の話を伺い、自分の中で新たな発見があり、社会への興味も広がりました。

ワークショップでは自身の課題も見つけることができ、学ぶことがたくさんあった一日でした。今後の大学生活につなげます」(国際教養学部3年)などの声がありました。



記念フォーラムでは馬場学長が挨拶



イベントを企画運営したGLC卒業生



## Feature Article 3: How Soka students shined at the Global Business Campus Becoming ambassadors, contributing to the world!

# | 記念フォーラム&ワークショップを公開!

## 第1部 記念フォーラム

### Be a Value Creator

### アクセンチュア株式会社



パネリスト/アクセンチュア株式会社 後藤 浩さん、海老原 城一さん、斉藤 博史さん、朝海 伸子さん(元社員)

「Be a Value Creator」と題した基調講演とトークセッションが実施されました。「いま世界で起きていることに広く目を向け、価値を創りだせる人材」について多様な視点で議論が交わされました。参加者からも以下のような声が寄せられました。

「トークセッションから、互いの差異を認め理解し、自分の力を発揮できるような環境を築くことで自分らしく価値を提供できるようになるのだと感じました」(経済学部2年)。

## 第2部 “グローバルビジネス”体感ワークショップ

### Pick up 1

### これからの未来の話をしよう

### 日本アイ・ビー・エム株式会社



2030年、私たちはどんな社会で何をしているのでしょうか。自社を「テクノロジーで人類の進歩に貢献する」企業と考えるIBMが主催したワークショップでは、変革の歴史を築いてきた“人”に焦点を当て、社会を変革するために必要なことは何かを学びました。参加者一人ひとりと実現したい未来を想像し、その未来に向かって明日からできることは何かを考えました。

キーワード **社会変革・リーダー**

#### 学生の声

◆「今回のワークショップを通して、ITで世界を変革し続ける、また、常に未来を見続ける姿勢に感銘を受けました」(経営学部4年)。

◆「常に先を見据える考え方にすごく刺激を受けました。また、考え続ける大切さを学びました」(経済学部1年)。

#### 講師の声

「将来・未来に積極的な多くの学生の皆さんと接することができ、講座を担当した私がとても刺激を受ける機会となりました」。

### Pick up 2

### Cross-culture Team Building

### 日本タタ・コンサルタンシー・サービズ株式会社



グローバルなフィールドで活躍するために、異文化を理解し、協働する力はとても重要です。ワークショップでは、多国籍チームにおけるチームビルディングを学びました。ゲームやワーク、また実際のプロジェクト事例を通して、グローバルな環境で必要となるスキルやマインドセットを体感できる参加型の英語ワークショップとなりました。

キーワード **異文化コミュニケーション**

#### 学生の声

◆「ほぼ英語のディスカッションで非常に良い刺激を受けました。グローバル企業で働く日本の方だけではなく、インドの方と話ができたのが初めてとても嬉しかったです」(経済学部1年)。

#### 講師の声

「学生の皆さんは対話に積極的で多くの質問があったことが嬉しかったです。またインドとの交流や文化にも非常に興味を持ってきていました。創価大学の皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています」。

グローバルリーダーカレッジを次のページで紹介！





# グローバルリーダーカレッジ (GLC) とは

複雑かつ多様性への対応が求められる現代社会において、キャリアセンターではいち早く「グローバルリーダーの育成」に教職員・学生・卒業生のネットワークを活用して取り組んできました。それが2006年度に開講された自分の未来を自身で切り拓くキャリア教育プログラム「グローバルリーダーカレッジ (GLC)」です。

## 独自の時代即応グローバルリーダー育成プログラム

GLCは学部横断型の課外講座で、1・2年生を対象に募集し、定員は毎年36名。複眼的考察力やプレゼンテーションスキルといった「考える力」「伝える力」「学ぶ力」を重点的に学び、大学生活や社会で必須となる力を鍛えます。本学教員を招聘しての「読書ゼミ」では先哲の思想・哲学を学ぶため古典

などの良書を読み、集大成のプログラムとして約3ヶ月にわたる社会課題解決立案プロジェクト (Revopro) を行うなど、理論と実践を融合するカリキュラムとなっています。約50の講座やサポートプログラムがあり、講師や運営スタッフは、基本的に企業に勤めるOBOGが担当します。受講生への定期的なメンタリングやミッション・ビジョンを策定する講座を通じ、大学生活や卒業後のキャリアを充実させるサポートも行っています。



## これがGLC! 講座の様子を写真で紹介



社会課題解決立案プロジェクト Revopro (レボプロ)



読書ゼミ



ファシリテーション



グローバルアナリティクス



ディスカッション



図解力



## GLC現役生・卒業生・スタッフの声



GLC現役生  
本間 光宣さん

具体的な夢や目標がなく、人生で大きなことを成し遂げたいと漠然と考えていたとき、GLCに出会い、これが自分の学びたいことだと感じました。私に心に

残っている講座は「Revopro」です。一国の本質的問題に対する解決策を考え、約3ヶ月間、地球の裏側の人たちの幸せのために何ができるかを考えることが

できました。この経験を通して、世界との距離の遠さと自分の力の無さを実感し、現在も大学院で学ぶ原動力となっています。



GLC卒業生  
西野 ひかるさん

大きな夢に向かって、今すべきことは何かを考えられる自分になりました。GLCで、「世界を舞台に活躍したい」という入学当初の漠然とした夢が具体的

になり、その実現に向けた学生生活の過ごし方を教えてもらいました。どういう自分になりたいのか、そのために必要な力は何か、今何に挑戦すべきなのか等、

一つひとつ具体的な行動に落とし込むサポートがあったことで、就職活動も、のりこえることができました。現在、仕事でも同じように日々挑戦を続けています。



GLCスタッフ  
竹鼻 綾乃さん

これまで200名の学生が、GLCの講座を受講し、卒業後も切磋琢磨し合いながら研鑽を続けています。これからも開拓者精神をどこまでも大事にしてい

きたいと思います。キャリアセンターのコンセプトでもある「自分の未来を自身の力で切り拓く力」を付けるプログラムを提供し、世界の諸問題に当事者意識を持つ

て取り組むグローバルリーダーを一人でも多く育成していきます。

## 10年間のGLCの主な進路実績

DHL ジャパン株式会社  
PwC あらた監査法人  
SAP ジャパン株式会社  
UBS 証券株式会社  
UDトラックス株式会社  
アクセンチュア株式会社  
味の素株式会社  
アビームコンサルティング株式会社  
株式会社一条工務店  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
エーザイ株式会社  
株式会社大林組  
亀田製菓株式会社  
株式会社キーエンス  
キリンビバレッジ株式会社  
株式会社公文教育研究会  
栗田工業株式会社  
神戸大学大学院国際協力研究科  
ゴールドマン・サックス証券株式会社  
サンスター株式会社  
シスコシステムズ株式会社  
清水建設株式会社  
昭和シェル石油株式会社  
ジーク株式会社

株式会社常陽銀行  
株式会社スリーボンド  
全日本空輸株式会社  
創価大学大学院工学研究科  
創価大学法科大学院  
ソフトバンク株式会社  
株式会社タマス  
株式会社タンガロイ  
テルモ株式会社  
デル株式会社  
デロイト・トーマツ・コンサルティング株式会社  
東京大学公共政策大学院  
東京大学大学院工学系研究科  
東京電力株式会社  
株式会社東芝  
株式会社トーメンエレクトロニクス  
日産自動車株式会社  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
日本GE株式会社  
日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社  
日本通運株式会社  
日本電気株式会社  
日本電産株式会社  
日本ヒューレット・パッカード株式会社

日本マイクロソフト株式会社  
日本マクドナルドホールディングス株式会社  
日本メドトロニック株式会社  
株式会社パソナ  
パナソニック株式会社  
日立製作所株式会社  
株式会社日立ソリューションズ  
株式会社ビジネスプレイン太田昭和  
ファイザー株式会社  
株式会社ファミリーマート  
ブライズウォーターハウスカーパス株式会社  
北海道大学大学院環境科学院  
株式会社三井住友銀行  
三井物産株式会社  
三菱商事株式会社  
株式会社三菱東京UFJ銀行  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
山下ゴム株式会社  
ヤマハ株式会社  
郵船ロジスティクス株式会社  
株式会社ユニクロ  
株式会社レジェンド・アプリケーションズ  
ルート製菓株式会社  
株式会社ワークスアプリケーションズ

創価大学キャリアセンター公式サイト  
<https://career.soka.ac.jp/>



グローバルリーダーカレッジ公式サイト  
<http://career.soka.ac.jp/glc/student/glc.html>





# 創価女子短期大学の キャリアサポート

鎌倉 まり子さん

Mariko Kamakura

現代ビジネス学科2年  
大分県立日田高校出身

地方銀行内定

## 「2年間で4年間分に」

理系の国立大学を目指していた私が創価女子短大の受験を決意したのは、高校3年生の夏に出会った卒業生の「2年間で4年間分に」という言葉でした。短大で凝縮した2年間で過ごせるなら、4年制大学に進学するのはもったいないと思って(笑)。入学式で出迎えてくれた先輩は皆優しく、短大に入学できて良かったと心から思いました。

## 日々挑戦の短大生活

私が短大で学んだ経営学は実践的な学問で新鮮でした。English Loungeで生きた英語を身に付け、土曜日開講の検定対策講座も受講して、1年生で簿記検定試験や秘書検定など4つの資格を取得。授業以外でも、寮で後輩の寮生活のお世話役として日々努力するなど、友達と切磋琢磨して過ごした2年間でした。

## 念願のUターン就職

就活の支えになったのは「就勝塾」。受講生1名に卒業生1名が担当に付いてくださり、個別相談や模擬面接を何度も行ってくれました。地元大分県へのUターン就職希望の私に、大分県で働いている卒業生も相談にのってくれました。苦しいときも悩んだときも友達と励まし合い、第1志望の地方銀行から内定をいただくことができました。

## 短大生の誇りを胸に

最高の仲間と励まし合って駆け抜けた2年間でした。今は短大で学べて本当に良かったと思います。社会で力を付けて、就勝塾1期生として、今度は私が後輩の就職活動をサポートしたいです。短大生の誇りを胸に、後輩の模範となる社会人になれるよう頑張っていきます。

## あなたの夢をバックアップ“短大の就活支援”



### 就勝塾

2015年度より就職支援プログラム「就勝塾」を開講し、就職活動のトップランナーを育成しています。



### キャリア支援イベント

全短大生を対象に、SPI対策講座やエントリーシート添削会等のイベントを開催しています。



### OG懇談会

多様な進路で活躍するOGとの懇談を通して、自身のキャリアを描くことができます。写真は外交官の中田啓子さんとの懇談の様子。





「地域の中で全ての人が当たり前な生活をするためのシステム」をどのように構築するかが研究課題

「現場に足を運び、困っている人と同じことを体験・実感するのが何より大事です」

“The most important thing is to go out and meet the people having trouble, to feel and experience the same things they do.”

段差などをなくす“バリアフリー”から、  
誰もが使える“ユニバーサルデザイン”へ

子供の貧困・非行・虐待、バリアフリーや高齢者の介護…。私たちの周りには様々な社会問題がありますが、学問的アプローチによって問題解決に取り組んでいるのが、和田光一教授です。

「地域の中で全ての人が当たり前な生活できることが、本来の社会の姿であるという考え方をノーマライゼーションといいます。また、世の中にはいろいろな人がおり、社会的弱者を排除するのではなく、包み込むように一緒に生きていくという考え方をソーシャルインクルージョンといいます。これらを具体化するのが福祉であり、そのための研究が私の仕事です」

福祉の視点から、“まちづくり”にかかわることも。

「建物の段差などをスロープ化したりすることをバリアフリーといいます。最近ではユニバーサルデザインといって、最初から誰もが使えるものを作ろうという考え方になっています。誰もが住みやすいまちづくりをするための提案をしています」

福祉研究は“行動の科学”。  
現場へ行き実感することが大事

福祉の研究は“行動の科学”といわれているそうです。困っている人などがいる現場に行き、その行動を自分も体験・実感しながら分析をする。その上で、どのようなシステムをつくれれば問題が少なくなるのかを考えることが研究の基本だといいます。

「授業でも、例えば『障害者福祉論』では、学生が車いすを使ったり、目隠しをして白杖を使ったりして、大学内や学外を歩いてみます。そうしてバリアをチェックし、各自の実感をもとに、改善策をみんなで議論してまとめていきます。また、私のゼミ(社会福祉専修)の学生は福祉施設での4週間の実習が必須です。現場を知ることによって、問題意識が高まり、見違えるようにみんな成長しますよ」

卒論では、各自が研究テーマを決め、それぞれの現場で調査を行います。中には、日雇い労働者の低賃金の問題に迫るため、10日間にわたり聞き取り調査を行い卒論をまとめた学生もいたそうです。

社会福祉士試験の合格率は、  
私立大学で2年連続「第1位」!

和田先生のゼミからは、国家資格である社会福祉士の合格者が毎年多数輩出されています。2016年の試験では11名(既卒が1名)が合格し、合格率は68.8%(全国平均は26.2%)。私立大学で2年連続第1位という快挙を達成しました。その秘訣は?

「対策講座を開いて支援しているのがありますが、学生がよく勉強するからです。資格を取得して、福祉の現場で働きたいというモチベーションが高いのです」

社会福祉士は、高齢者や障害を持った人などやその家族の相談にのり、助言を行うための資格です。就職先は、公務員(福祉職)や社会福祉協議会、病院(医療ソーシャルワーカー)など。

「人が好きであること。そして、“心は熱く、頭は冷静に”ができる人が向いています。正義感だけではできず、ケースバイケースで対応しなければならぬ大変な仕事ですが、やりがいがあります」



ゼミでは、4人1組で課題に対して徹底的に議論をする



教科書として使う『支援者が成長するための50の原則』。社会福祉士やケースワーカーなどにとって必要なルールを学ぶことができる



Profile

和田 光一  
Koichi Wada

1976年駒澤大学大学院 人文科学研究科 社会学専攻 修了。東京都職員として児童施設・障害者施設の指導員、補装具研究所・福祉機器総合センター・高齢者研究・福祉振興財団などの主任研究員を務めたのち、つくば国際大学へ。2002年より本学に勤務。研究テーマは「ノーマライゼーションと地域社会」。介護保険の制定にかかわったり、府中市福祉のまちづくり推進審議会会長、東京都福祉保健財団福祉用具選定委員会委員長なども務める。

図書館の使い方のキホン、書庫利用やデータベースのガイダンスを定期的に行っています。学習や研究、就活等に役立つ知識が得られるので、まずは気軽に参加してみてください。詳細は図書館HPへ。



キホンを知る

中

## ぶらりライブラリー

あまり知られていない(?)けれど実は便利なグッズの貸出やサービスを行っている図書館。図書館を使いこなせば、学生生活も充実するかも。

中央図書館…… 中

理工学部・フレイザー図書館…… フ

看護学部・白樺図書館…… 白

法科大学院図書室…… 法

短大・香峯図書館については短大HPへ



1階カウンターで小型プロジェクターの貸出をしています。また、iPhoneやiPadなどにつなぐAVアダプターもあります。これを使えば、図書館内の会話可能な場所のどこでも映像を映してプレゼンの練習ができます。 中

どこでもプレゼン練習

## 目指せ一番乗り



1月11日～25日の定期試験期間中の平日、早朝開館を実施! 朝7:30から中央図書館が利用できます(貸出などのカウンターサービス以外)。試験期間は朝から静かな図書館で集中! 中

電子書籍や電子雑誌を多く取り揃えています。パソコン・タブレット・スマホで閲覧でき、中には電子書籍ならではの読み上げ機能が付いていて語学学習に向いています。利用方法は図書館HPへ。 中 フ 白 法



語学学習に最適



看護実習期間こそ図書館を使いたいとの要望を受け、白樺図書館では2016年秋に土・日の特別開館を行いました。2017年度は白樺図書館の土・日開館を拡充します。 白

看護学部生を応援

## 意外な人気者「カート」



本が多くなって重かったり、かさばったりして運びにくいときに活躍。1階エレベーター前にあるカゴやカートは自由に利用できます。 中

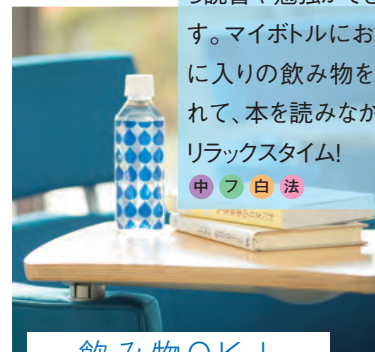
本の表面についている雑菌を紫外線で除菌する除菌BOX。本を持ち帰るときにも清潔で安心です。インフルエンザウィルスにも効き目があるため感染症対策にも。 中



本をキレイに

フタ付きの容器であれば飲み物を飲みながら読書や勉強ができます。マイボトルにお気に入りの飲み物を入れて、本を読みながらリラックスタイム!

中 フ 白 法



飲み物OK!



# 国家試験 合格者

司法試験や公認会計士試験、税理士試験などの難関とされる国家試験、国家公務員試験、地方公務員試験を目指す人のサポートを目的に、法律教育センター、会計税務教育センター、行政教育センターの3つのセンターを設置しています。教員や本学出身の現役弁護士・公認会計士・税理士や合格間もない先輩などの講師陣が、きめ細かい指導を行っています。「2016年度司法試験」「2015年公認会計士試験」「2015年度税理士試験」の合格者は以下の通りです。

## 2016年度司法試験 合格者

小林 沙友里	小川 健一	名古 拓磨	昆 佳子	江森 洋子	塩澤 裕樹	和田 大介
木村 新一	菅原 麻衣	久保 美希	谷村 孝一	安力川 美貴	森田 尊伸	外立 和幸
山田 健一	森 諒馬	西野 貴紀	佐藤 直美	大岸 裕介		

## 2015年公認会計士試験 合格者

三浦 翼	井上 幸一	鎌田 匠	梅木 拓哉	島津 光	土屋 進一
------	-------	------	-------	------	-------

## 2015年度税理士試験 合格者

霧田 高志	大谷 里美	井手 鮎子	内藤 幸菜	村木 栄雄	安藤 俊英	榎本 篤	内山 義彦
-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------

# 第8回(2016年度)創価大学 シュリーマン賞受賞者

この賞は、積極的な国際交流を展開する創価大学において、語学コミュニケーション能力に長けた人材のさらなる育成を図り、国際性豊かな世界市民の輩出を目指すことを目的として設置されました。

英語	・ TOEFL…PBT550点以上、 CBT213点以上、iBT80点以上のいずれ かを獲得 (TOEFL ITP 可 550点以上) ・ TOEIC…730点以上獲得 (TOEIC IP 可 730点以上) ・ IELTS 6.0以上・英検準1級以上合格 ・ 国連英検 A級以上合格	146名	中国語	・ 中国語検定2級以上合格 ・ 中国語HSK (漢語水平考試) 5級195点以上、 もしくは6級180点以上	13名
ハンガール	・ ハンガール能力検定 2級以上合格	3名	ドイツ語	・ ドイツ語技能検定 2級以上合格	1名

# シュリーマン賞を受賞しました!



村上 碧さん  
教育学部4年

留学後はWLCのカウンタースタッフとして活躍。留学生利用者も多く、英語での質問にも対応している。教員採用試験に合格し、2017年4月より小学校英語教諭に。

## 創大の英語学習環境をフル活用して留学へ!

留学の経験をもつ父と姉の影響を受けて、創価大学に入学したら必ず留学に行きたいと思っていましたが、入学当初はTOEIC395点。入学後は授業と部活の両立も忙しい中でしたが、日々の積み重ねを大切に、次のような工夫をしました。

- ・履修の際に必ず英語の授業をとる
- ・WLCのChit Chat Clubの英会話に通う
- ・毎朝1時間、英語学習をする
- ・単語帳のコピーを部屋中に貼る
- ・寝る前に10個単語に目を通す

教育学部のアメリカ研修に参加し、4年生のときにカナダに念願の留学をしました。様々な言語や文化、宗教を持つ人々との意思疎通を可能にする英語の素晴らしさを感じました。また、英語の環境に身を置きながら集中的に勉強した結果、TOEICは795点まで伸ばすことができ、今回シュリーマン賞を受賞しました。

今後、留学経験も活かしながら、子供たちに英語の楽しさを伝えていける教員になりたいと考えています。

# 学生の活躍 Student Activity

## GCP

### 創大生が内閣府国際交流事業でドミニカ、ラオス、リトアニアを訪問

Soka students visited Dominican Republic, Laos, and Lithuania as part of Cabinet Office's International Exchange Program



ラオスでの合宿に参加する田中さん

平成28年度内閣府国際青年育成交流事業にGCP6期生の宮地未樹さん（法学部2年）、田中慶太さん（経済学部2年）、塩田貴子さん（法学部2年）が参加しました。内閣府国際青年育成交流事業は、日本と諸外国の青年との交流を通じて、国際社会でリーダーシップを発揮できる青年を育成することを目的としており、日本青年を海外に派遣する「日本青年海外派遣（平

成28年度は3カ国に各14名）」と、外国青年を日本に招へいする「外国青年招へい」から構成される双方向の事業です。今回参加した3名はそれぞれドミニカ共和国、ラオス人民民主共和国、リトアニア共和国に9月9日から26日まで派遣され、帰国後は6カ国から外国青年招へいにより来日した青年たちとの国際青年交流会議に参加しました。

## キックボクシング部

### キックボクシング部丈夫会が8度目の全国優勝！

Kick boxing team won the national title for the eighth time



11月26日、東京・後楽園ホールで開催された「第85回全日本キックボクシング選手権大会」において、キックボクシング部丈夫会（ますらおかい）が、団体戦で8度目の全国優勝に輝きました。出場した3選手は、主将の中島はじめ選手（法学部2年）が左ハイキックを武器に判定勝ち、呉屋弘之選手（経済学部3年）が果敢な攻めを貫き判定勝ち、森田大樹選手（法学部2年）が得意の右ストレートで最後まで攻め抜きま

した。結果、総合ポイントで他大学を上回り見事、優勝の栄冠を手にし、呉屋選手は優秀選手賞も受賞しました。主将を務めた中島さんは、「チーム全体が“団体優勝”を目標とし、厳しい練習を乗り越えてきました。選手だけでなくスタッフも含めた団結が優勝の要因です。連覇を目指して、それぞれが向上心を持って力をつけていきたいと思います」と喜びを語ってくれました。

## 丸田ゼミ

### 理工学部・丸田ゼミが八王子特産米を使用した米粉パンを共同開発しました

Professor Maruta's Faculty of Science and Engineering seminar class jointly developed rice flour bread using Hachioji special rice

今回開発された米粉パンは「カフェ・ド・ハルン」で販売中です。



大学コンソーシアム八王子が実施する「学生企画事業補助金」の採択事業として、理工学部の丸田ゼミが八王子市の製パン会社「カフェ・ド・ハルン」と共同で、石川農園提供の八王子特産米「高月清流米」を使用した米粉パンを開発しました。同事業は、加盟大学等の学生が八王子を舞台に様々な事業を企画・運営することを目的に毎年募集。今年は8大学20団体の応募の中から、丸田ゼミの「八王子特産米

を使った加工食品による地域活性化」の事業計画が採択されました。プロジェクトリーダーの館ひろみさん（理工学部3年）は、「地域活性化への貢献を思索し、市内の生産農園と製パン業者と提携して特産米の屑米を用いた米粉パンを作り、6次産業化・地産地消を目指した事業を計画。この事業を通して、製品化の大変さと、商品が完成したときの喜び・達成感を学ぶことができました」と語りました。



## クラブ団体

### 本学クラブ団体主催のスピーチコンテスト・シンポジウムが開催 Soka's club organizations hold speech contests and symposiums

#### スピーチコンテスト

コンテスト名	主催(創価大学)	開催日
ハングルスピーチコンテスト	ハングル文化研究会	11月5日
英語弁論大会	英語研究会	11月6日
中国語弁論大会	中国研究会	11月13日
ドイツ語弁論大会	ドイツ語研究会	11月26日
日本手話スピーチコンテスト	Mission Hands	11月27日
スペイン語弁論大会	ラテンアメリカ研究会	12月3日
ロシア語スピーチコンテスト	ロシア研究会	12月11日
スワヒリ語スピーチコンテスト	パン・アフリカン友好会	12月18日

#### シンポジウム

シンポジウム名	主催(創価大学)	開催日
アジア太平洋学生シンポジウム	東南アジア研究会	12月4日

本学の9つのクラブ団体がスピーチコンテストやシンポジウムを、11月から12月にわたって開催しました。全て本学学生による企画・運営で、コンテストに加え、音楽やダンス、劇などの催しを通して、各国の文化魅力を伝える大会になりました。11月5日開催の「ハングルスピーチコンテスト」弁論部門で第1位となった宮下華奈さん(経

営学部4年)は、「今回のスピーチコンテストで学んだことを生かし、将来は日本と韓国の発展に尽力していきます」と語りました。例年、この時期に開催するスピーチコンテストには、各国の大使や大使館関係者が、来賓や審査員として出席。弁士には、他大学も含めた学生だけでなく社会人も参加しています。



弁論部門第1位の宮下さん(ハングル)



11月13日開催の中国語弁論大会にて

## 野村ゼミ

### 経営学部・野村ゼミが「エコプロ2016～環境とエネルギーの未来展」に出展 Professor Nomura's Faculty of Business Administration seminar class creates display for EcoPro 2016 International Exhibition on Environment and Energy



エコプロ2016に出展した野村ゼミ



エコプロ2016当日の様子

12月8日から10日まで、東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2016～環境とエネルギーの未来展」(主催:産業環境管理協会、日本経済新聞社)に、経営学部の野村ゼミが大学教育機関コーナーで出展しました。本展は企業、NPO・NGO、行政・自治体、大学・研究機関、そして一般生活者といった様々な立場の人が集まり、ビジネスからライフスタイルまで幅広く環境にやさしい持続可能な社会の実現を考える、アジアを代表する環境・エネルギーの総合展示会です。今回は、730社・団体が出展し、約17万人が来場しました。

野村ゼミは環境問題を中心とした社会問題の解決を目指しており、eco検定の取得や専門書による知識の習得と共に、環境省プロジェクト「長野県鬼無里地区におけるバイオマスエネルギーの重要性(平成25年度)」の調査メンバーとして、限界集落活性化のための支援活動を行ってきま

した。今回の出展では、環境への取り組みへの意識改革を目的として、「ecoについて語り合うバー」をイメージし、廃材を再利用したブースで様々なエコ知識を紹介。また、鬼無里地区よりラベル造りなどの委託を受けている名産品の販売も行いました。参加したゼミ生は「環境問題を少しでも多くの人に身近に感じて欲しくて積極的に話しかけました」、「準備は大変だったが多くの方に足を止めていただけて嬉しかった」と述べました。



ecoについて語り合うバー(創大祭でのプレ展示より)



## 第46回創大祭・第32回白鳥祭を開催

46th Annual Soka University Festival and 32nd Annual Swan Festival held

10月8日、第46回創大祭、第32回白鳥祭の開幕を告げる「創価栄光の集い」が本学の池田記念講堂で開催されました。

第1部の学生有志による記念演目に続き、第2部の記念式典では、石川恵子短大学長が挨拶。田代康則理事長が創立者池田大作先生からのメッセージを紹介しました。

記念講演では、アメリカ・デンバー大学名誉教授のベッド・ナンダ博士が登場し、学生の記念演目を称賛されました。その後、創立者池田先生との出会いを懐かしく振り返りながら、「生涯を教育者として過ごしてきた私にとって、学生中心の価値創造の教育アプローチである創価教育を知ったことは新鮮でありました。創立者が学生に語りかけるとき、まさにこの創価教育の実践を目にしました。創立者と何百人の学生たちとの交流の場は一人ひとりとの対話をしているかのようでありました。このような交流を私はそれまで経験したことがありませんでした」と語り、式典は幕を閉じました。

翌日9日より第46回創大祭、第32回白鳥祭の一般公開が始まりました。2日間で約3万人が来場し、展示や模擬店を楽しみました。



## 理工学部戸田教授が「藻場再生実証実験」の成果を報告

Professor Toda of the Faculty of Science and Engineering announces results of experimenting, demonstrating the capability of regenerating seaweed beds

11月21日に長崎県の新上五島町役場で開催された「陸と海を繋ぐ“栄養塩循環システムによる藻場再生実証実験”成果報告会」で、本学の戸田龍樹教授が成果報告を行いました。この実証実験は、新上五島町と創価大学、長崎大学等がチームとなり、海に藻場を再生するため、2014年より実施しました。報告会では香川大学の多田邦尚教授が講演を行い、その後、各団体から報告があり、全国初の事業として汚泥処理センターから、特殊な吸着剤を使用して回収したリンを海中に供給すると、海藻が早く成長することが報告されました。戸田教授は「食害や浮泥対策の課題はあるが、海中にリンを供給する施設を設け、海藻を増やす実験を継続したい」と述べました。江上悦男町長は、「今回の研究成果が水産業発展の一助になると考えております。今後も、一層のご支援をお願いします」と期待を寄せました。



## 2016年度 創価大学「トップが語る現代経営」を開催

Soka University's "Modern Management of Leaders in the Field 2016" seminar held

企業のトップを招き、各企業や業界の理念や将来像、戦略などを講義していただく授業が、共通科目「トップが語る現代経営」です。全学部・学科の学生が受講できる共通科目の一つとして、1995年に開講してから本年度で22年目となり、これまでに多くの方を講師としてお迎えしています。特に、最近の経済界の変化は激しく、その中で活躍されている経営者の方々から、直接、「生きた経営」を語っていただくことは、大変貴重な体験であり、学生に人気の授業です。本科目は、ビジネス界で奮闘されているトップの方々の視点から見た現実の社会を開示する講義でもあり、創大生にとって、単に企業経営にとどまらず、社会で活躍する人間としての考え方や行動などを学べる絶好の機会となっています。

2016年度 創価大学「トップが語る現代経営」				
月日	曜日	企業名称	講師	役職名
9月21日	水	富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ㈱	吉田 整	会長
9月28日	水	トヨタ自動車㈱	内山田 竹志	代表取締役会長
10月5日	水	㈱西日本新聞社	川崎 隆生	取締役会長
10月12日	水	㈱宮脇書店	宮脇 範次	代表取締役社長
10月19日	水	明治安田生命保険相互会社	松尾 憲治	特別顧問
10月26日	水	㈱河出書房新社	小野寺 優	代表取締役社長
11月2日	水	日本アイ・ピー・エム㈱	ポール 与那嶺	代表取締役社長
11月9日	水	清水建設㈱	宮本 洋一	代表取締役会長
11月16日	水	㈱アインホールディングス	大谷 喜一	代表取締役社長
11月30日	水	九州旅客鉄道㈱	唐池 恒二	代表取締役会長
12月7日	水	ANA ホールディングス㈱	伊東 信一郎	代表取締役会長
12月14日	水	㈱プリンスホテル	赤坂 茂好	代表取締役社長
12月21日	水	トランスコスモス㈱	向井 宏之	取締役副社長

## モスクワ大学サドーフニチ総長による講演会を開催

Lomonosov Moscow State University Rector Victor Antonovich Sadovnichy presents lecture

モスクワ大学のヴィクトル・サドーフニチ総長が、12月15日に来学され、講演会が行われました。総長は、創立者池田先生との語らいについて述懐し、「生命、人生、社会、教育、そして未来について語り合い、その内容が対談集に結実しました」と述べました。さらに、今後、大学がどのように発展していくべきかについて、①教養ある人を輩出する②科学技術の先端を担う③社会や文化・環境などを結び付ける役割があり、世界とともに未来を構築する使命があると語りました。



## 第19回菊花展示会が開催されました

19th Annual Chrysanthemum Exhibit held

11月3日から6日まで、本学で近隣の加住菊友会（塩野義男会長）の菊花展示会が開催されました。今年で19回目を迎えた展示会では、地元の加住菊友会の方々が1年間にわたって丹精を込めて育て上げた盆養、懸崖、福助など約100鉢の鮮やかな菊が正門前を彩りました。



## 3月20日に本学で「第4回 SAGE JAPAN CUP」を開催します

The 4th annual Sage Japan Cup will be held at Soka University

来る3月20日、大教室棟S201教室で、SAGE JAPAN 推進委員会（本学教育学部宮崎ゼミ）が主催する「第4回 SAGE JAPAN CUP」が開催されます。同大会には毎年、高校生・大学生・教職員・マスコミ関係者らが100名以上参加しています。SAGEとは、高校生が大学生と共に企業のサポートを受けながら、社会貢献事業を考案・実践する国際的な教育プログラムです。アメリカや中国、ロシアなど27カ国以上で開催。日本では今回が4回目となり、千早高校、国際高校、両国高校、田園調布学園、横浜サイエンスフロンティア高校が出場予定です。（写真は前回大会の様子）





# 2016年度後期**特待生**

2016 Performance-Based Scholarships

この度、学生部委員会・学部教授会にて審議決定された2016年度後期特待生が発表されました。  
特待生とは、セメスター（前期／後期）ごとに学業成績が優秀である学生を表彰する制度で、  
対象者には奨励金15万円が給付されます。

経済学部経済学科 <b>大庭 美幸</b> Miyuki Oba	経済学部経済学科 <b>杉本 誠</b> Makoto Sugimoto	経済学部経済学科 <b>藤井 正哉</b> Masaya Fujii	経済学部経済学科 <b>那倉 伸幸</b> Nobuyuki Nagura
経済学部経済学科 <b>山本 広明</b> Hiroaki Yamamoto	経済学部経済学科 <b>辻 遼太郎</b> Ryotaro Tsuji	経済学部経済学科 <b>松井 美樹</b> Miki Matsui	経済学部経済学科 <b>亀井 咲希</b> Saki Kamei
経済学部経済学科 <b>浦上 秀夫</b> Hideo Uragami	経済学部経済学科 <b>奥村 文華</b> Ayaka Okumura	経済学部経済学科 <b>杉本 美幸</b> Miyuki Sugimoto	経営学部経営学科 <b>志田 明</b> Akira Shida
経営学部経営学科 <b>中嶋 栄紀</b> Hiroki Nakajima	経営学部経営学科 <b>山本 恵美</b> Emi Yamamoto	経営学部経営学科 <b>大原 貴子</b> Takako Ohara	経営学部経営学科 <b>田村 美幸</b> Miyuki Tamura
経営学部経営学科 <b>篠原 和久</b> Kazuhisa Shinohara	経営学部経営学科 <b>重田 健一</b> Kenichi Shigeta	経営学部経営学科 <b>塩田 秀明</b> Hideaki Shioda	経営学部経営学科 <b>数又 秀美</b> Hidemi Kazumata
経営学部経営学科 <b>鳥海 健一</b> Kenichi Toriumi	経営学部経営学科 <b>奥野 賢一</b> Kenichi Okuno	経営学部経営学科 <b>熊 歆</b> Huan Xiong	法学部法律学科 <b>西出 未来</b> Miku Nishide
法学部法律学科 <b>ミツチエル 京太</b> Kyota Mitchell	法学部法律学科 <b>川村 将輝</b> Masaki Kawamura	法学部法律学科 <b>安達 和秀</b> Kazuhide Adachi	法学部法律学科 <b>西村 直人</b> Naoto Nishimura
法学部法律学科 <b>笠井 康平</b> Kohei Kasai	法学部法律学科 <b>島津 栄凜香</b> Erika Shimazu	法学部法律学科 <b>大橋 秀夫</b> Hideo Ohashi	法学部法律学科 <b>斎藤 大輝</b> Daiki Saito
法学部法律学科 <b>廣瀬 文人</b> Fumihito Hirose	法学部法律学科 <b>宮地 花菜子</b> Kanako Miyaji	法学部法律学科 <b>吉田 正樹</b> Masaki Yoshida	法学部法律学科 <b>極山 大樹</b> Daiki Kiwayama
法学部法律学科 <b>浜田 光一</b> Koichi Hamada	法学部法律学科 <b>宮本 直美</b> Naomi Miyamoto	法学部法律学科 <b>広実 ひかり</b> Hikari Hirozane	文学部人間学科 <b>黒相 いちご</b> Ichigo Kuroso
文学部人間学科社会福祉専修 <b>石橋 加慧</b> Kae Ishibashi	文学部人間学科社会福祉専修 <b>京極 舞</b> Mai Kyogoku	文学部人間学科 <b>山浦 康平</b> Kohei Yamaura	文学部人間学科社会福祉専修 <b>山之内 敬子</b> Keiko Yamanouchi
文学部人間学科 <b>宮田 哲哉</b> Tetsuya Miyata	文学部人間学科 <b>遊佐 かおる</b> Kaoru Yusa	文学部人間学科 <b>三浦 雄一</b> Yuichi Miura	文学部人間学科 <b>清田 俊介</b> Shunsuke Kiyota
文学部人間学科 <b>中後 幸恵</b> Sachie Chugo	文学部人間学科 <b>田中 未来</b> Miki Tanaka	文学部人間学科社会福祉専修 <b>久米 直子</b> Naoko Kume	文学部人間学科 <b>齋藤 麻夏</b> Asaka Saito
文学部人間学科 <b>ロジェ エレア</b> Erea Roger	文学部人間学科 <b>中澤 暁</b> Akari Nakazawa	文学部人間学科社会福祉専修 <b>山下 真歩</b> Maho Yamashita	文学部人間学科 <b>小川 小春</b> Koharu Ogawa
文学部人間学科 <b>高橋 昌美</b> Masami Takahashi	文学部人間学科 <b>江田 あかり</b> Akari Eda	文学部人間学科 <b>南部 咲也華</b> Sayaka Nambu	文学部人間学科 <b>尾崎 美幸</b> Miyuki Ozaki
文学部人間学科 <b>畔柳 あかり</b> Akari Kuroyanagi	文学部人間学科 <b>野口 昌美</b> Masami Noguchi	文学部人間学科 <b>丸岡 楓</b> Fu Maruoka	文学部人間学科 <b>高橋 ひかり</b> Hikari Takahashi
教育学部教育学科 <b>飛田 伸彦</b> Nobuhiko Tobita	教育学部教育学科 <b>亀田 悠希</b> Yuki Kameda	教育学部教育学科 <b>小嶋 貴子</b> Takako Kojima	教育学部教育学科 <b>平川 夢乃</b> Yumeno Hirakawa
教育学部教育学科 <b>梶 正彦</b> Masahiko Kaji	教育学部教育学科 <b>熊谷 きとえ</b> Kitoe Kumagai	教育学部児童教育学科 <b>岡本 奈々</b> Nana Okamoto	教育学部児童教育学科 <b>清水 裕美</b> Hiromi Shimizu
教育学部児童教育学科 <b>小森 清美</b> Kiyomi Komori	教育学部児童教育学科 <b>稲葉 浩子</b> Hiroko Inaba	教育学部児童教育学科 <b>北郷 彩佳</b> Ayaka Hokugo	教育学部児童教育学科 <b>廣重 華</b> Hana Hiroshige
工学部(現 理工学部)情報システム工学科 <b>林 良明</b> Yoshiaki Hayashi	工学部(現 理工学部)情報システム工学科 <b>川口 永一郎</b> Eiichiro Kawaguchi	工学部(現 理工学部)生命情報工学科 <b>赤瀬 幸子</b> Sachiko Akase	工学部(現 理工学部)環境共生工学科 <b>太田 勇二</b> Yuji Ota
理工学部情報システム工学科 <b>畠山 翔</b> Sho Hatakeyama	理工学部情報システム工学科 <b>井門 史貴</b> Fumitaka Imon	理工学部情報システム工学科 <b>壬生 明日香</b> Asuka Mibu	理工学部情報システム工学科 <b>大野木 文弥</b> Fumiya Onogi
理工学部共生創造理工学科 <b>池田 光一</b> Koichi Ikeda	理工学部共生創造理工学科 <b>田中 健児</b> Kenji Tanaka	理工学部共生創造理工学科 <b>前川 明博</b> Akihiro Maekawa	理工学部共生創造理工学科 <b>伊豆田 護</b> Mamoru Izuta
看護学部看護学科 <b>大山 凌輔</b> Ryosuke Oyama	看護学部看護学科 <b>西海 由利花</b> Yurika Nishiumi	看護学部看護学科 <b>菅原 美香</b> Mika Sugawara	看護学部看護学科 <b>鈴木 梨花</b> Rika Suzuki
看護学部看護学科 <b>角内 弘美</b> Hiromi Kakuchi	看護学部看護学科 <b>川村 愛里沙</b> Arisa Kawamura	国際教養学部国際教養学科 <b>森岡 秀美</b> Hidemi Morioka	国際教養学部国際教養学科 <b>牧野 りさ</b> Risa Makino
国際教養学部国際教養学科 <b>山根 未来</b> Miki Yamane			

# 私が創大留学を選んだ理由



経営学部3年  
ユウカン  
熊 歡さん

## 留学生が特待生に！ 日本で見つけた学ぶ喜び

日本に留学したい！そういう気持ちになったのは、北京第二外国語大学で日本語を専攻していたからです。でも、母校が提供している留学プログラムはほとんどが1年間。日本語と日本文化を学ぶには短すぎる気がしていたところ、創大と母校の間で学術交流協定が結ばれ、2年半の留学が可能になったのです。しかも、創大には様々な学部があり、語学と共に学術的な分野も勉強できると。それなら、習得した日本語で自分が大好きな経営学を学ぶことができる。これは最高の環境だと確信し、創大への編入を決めました。

実際に来てみると、学内の施設が素晴らしいことに感激しました。特に女性専用のフラワーラウンジや、お洒落なグランカフェがお気に入りです。SPACEのワールドランゲージセンターなど、言

語能力を鍛えるための学習環境もすごく整っていますね。

先生たちもやさしいです。私の日本語がうまく通じないときなど、何度も根気強く繰り返し親切に解説してくださいます。国際課の職員の方たちも、日本の空港に到着したときからいろいろ助けてくださり、本当にありがたいです。

創大生は、目標を達成するために互いに協力し合うという意識がとても強いですね。私もしだいにチームワークの重要性が分かるようになり、成長したなと感じています。

今は、特待生にも選んでいただいたので、簿記2級の資格取得を目指して勉強に励んでいます。試験が終わったら、インターンシップを探るか、大学院進学などの進路について考えたいと思っています。

## 通信教育部 2017年度入学生 募集中!

### ●出願期間

1月5日～3月24日 (正科課程)

1月5日～4月28日 (科目等履修)

創価大学通信教育部は、昨年開設40周年を迎えました。卒業生数は18,000人を超え、社会の様々な分野で活躍が光っています。10代から80代まで世代を越えた学友が全国・全世界から集まる通信教育部と一緒に学んでみませんか。皆様のご入学を心よりお待ちしております。

### ●全国で入学説明会を実施

出願期間中、全国で入学説明会を開催しています。詳細は、通信教育部ホームページよりご確認ください。

資料のお取り寄せは

**0120-558-509**

平日 9:00～20:00 / 土日祝 9:00～17:00

※最初に「通信教育部の資料請求の件」とお話しください。  
もしくはインターネットで

<https://www.umcnavi.jp/soka/tk/>



はじめよう 創大通教。みつけよう 新しい自分。





# 2017年度 入学試験日程

## 創価大学

	出願期間 (郵送 締切日消印有効)	試験日	合格発表
全学統一入試 (3科目・2科目)	2016年12月20日 (火) ~ 2017年1月19日 (木)	2017年2月3日 (金)	2017年2月13日 (月)
一般入試	2016年12月20日 (火) ~ 2017年1月19日 (木)	経済・法・教育学部 2017年2月7日 (火)	2017年2月18日 (土)
		経営・文・国際教養学部 2017年2月8日 (水)	
		理工・看護学部 2017年2月9日 (木)	
大学入試センター試験利用入試 (後期3科目)	2017年2月22日 (水) ~ 3月3日 (金)	2017年1月14日 (土)・15日 (日) ※センター試験を受験	2017年3月13日 (月)

### 創価大学 一般入試試験場一覧

★東京 創価大学	八王子市丹木町1-236	★名古屋 名古屋プライムセントラルタワー	名古屋市西区名駅2-27-8
★札幌 TKP札幌ホワイトビルカンファレンスセンター	札幌市中央区北四条西7-1-5	★大阪 天満研修センター	大阪市北区錦町2-21
★仙台 TKP仙台西口ビジネスセンター	仙台市青葉区本町1-5-31	★広島 TKP広島平和大通カンファレンスセンター	広島市中区小町3-19
松戸 明生情報ビジネス専門学校3号館	松戸市新松戸1-130	高松 サンポートホール高松	高松市サンポート2-1
さいたま JA共済埼玉ビル	さいたま市大宮区土手町1-2	★福岡 リファレンス駅東ビル	福岡市博多区博多駅東1-16-14
新潟 新潟公務員法律専門学校	新潟市中央区弁天2-4-21	★那覇 那覇尚学院 (別館)	那覇市泊2-17-4
静岡 静岡商工会議所会館	静岡市葵区黒金町20-8		

★全学統一入試も同じ会場で行います。

## 創価女子短期大学

	出願期間	試験日	合格発表
一般入試	2017年1月4日 (水) ~ 1月20日 (金)	2017年2月4日 (土)	2017年2月13日 (月)

### 創価女子短期大学 一般入試会場一覧

東京 創価女子短期大学	八王子市丹木町1-236	大阪 天満研修センター	大阪市北区錦町2-21
札幌 TKP札幌ホワイトビルカンファレンスセンター	札幌市中央区北四条西7-1-5	福岡 リファレンス駅東ビル	福岡市博多区博多駅東1-16-14
仙台 TKP仙台西口ビジネスセンター	仙台市青葉区本町1-5-31	那覇 那覇尚学院 (別館)	那覇市泊2-17-4
名古屋 名古屋プライムセントラルタワー	名古屋市西区名駅2-27-8		

## 配布中 願書 (入試要項)

創価大学、創価女子短期大学の願書 (入試要項) をご請求いただけます。ホームページからご請求ください。資料請求いただいてから到着まで3日程度かかります。お急ぎの方は、創価大学アドミッションズセンター (042-691-4617) へお問い合わせください。



資料請求用QRコード



## オープンキャンパス 2017

開催時間 / 10:00~16:00

3/20 (月・祝) 5/3 (水・祝) 4 (木・祝)

7/29 (土)・30 (日) 8/20 (日)

2018 3/21 (水・祝)

創価大学、創価女子短期大学を体験しませんか？お待ちしております！

## ネット出願

創価大学 ネット出願  
で検索

入試ごとに検定料を  
**3,000円割引!**  
全学統一 (3・2科目)、  
一般入試、センター利用 (後期3科目) の  
すべてをネット出願で行うと、  
**合計9,000円割引!**

### <創友会の皆様へ> 勤務先カードご提出のお願い

本学後輩のために、勤務先カードの記入・提出のご協力をお願いいたします。ご提出いただいたカードは、就活生のOBOG訪問などに使用させていただきます。

詳しくはこちら↓  
キャリアセンターHP  
URL [http://career.soka.ac.jp/shien\\_card.html](http://career.soka.ac.jp/shien_card.html)

## 編集部からの お知らせ

編集部では、読者の皆様の声を募集しています。これからも、充実した魅力ある誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

FAX: 042-691-9300 E-mail: sun@soka.ac.jp

